



令和5年2月8日に、全日本ろうあ連盟創立70周年記念の映画「咲(え)む」を仙台市シルバーセンターで上映します。当協会の顧問である中島議員が「車イスの女性」が玉子を手取るシーンと「盲ろう者」が花を植えるシーンにとっても感動したそうです。感動するシーンがたくさんあります。どうぞ観に来てください。今年度で上映は打ち切りますので、是非とも観にいらしてくださいね。

# 2023.2.8(水)

①午前の部 10:30～(受付10:00～)  
 ②午後の部 14:00～(受付13:30～)  
 仙台市シルバーセンター1階 交流ホール  
 【仙台市青葉区花京院1丁目3-2】  
 高校生以上 1,200円 小中学生 500円



フォーム申込  
 & FAX 申込は  
 ①名前②時間希望③連絡先※申込後は当日に受付ください。

お申込み・お問い合わせ先  
 一般社団宮城県聴覚障害者協会  
 TEL022-293-5531 FAX022-293-5532

## Story [ストーリー]

看護師国家試験に合格したろうの女性の瑞月(みづき)は、就職活動で苦戦。そんな折、ある村の診療所で雇われる話が舞い込み、意気揚々と村にやってきた瑞月。しかし、採用を見送られることになり、落ち込む瑞月に役場から思わぬ仕事の紹介が…。村に住みながら懸命に取り組む瑞月だったが、様々な壁が瑞月を阻んでいく。相手を想っての行動が思わぬすれ違いを生み、そのわだかまりを解くこともできずに苦しんでいる大人たち。瑞月の起こす行動は、そんな大人たちを少しずつ変えていく。そして、村も大きく変わっていく…。



## Commentary [コメンタリー]

全日本ろうあ連盟、初の製作映画「ゆずり葉」(2009年)は、上映会場750か所、上映回数1250回、動員40万人を突破し、各界から大きな反響を得た。前作から十年余り、国連障害者権利条約の批准を契機にろう者の言葉である「手話言語」が認知され、各地で手話言語条例が広がり、教育、司法、医療など、各分野で活躍するろう者も増え、ろう者や手話言語について社会の理解が進んでいる。しかし、「きこえない、きこえにくい」ということによる社会の障壁、差別、偏見はなくなったわけではなく、目まぐるしく変わる社会情勢による新たな問題も生まれ、課題は多く残っている。2017年に創立70周年を迎えた連盟は、きこえに関係なく様々な人々が共生していく社会を目指し、再び映画製作に挑戦した。映画「咲む(えむ)」は、一人の若きろうの女性を通して、喜びや葛藤の中で生き、

様々な障壁を乗り越えていく姿から、「ろう者」とは「きこえない」とは何かということ、そして、「手話言語」は魅力的で素晴らしい言葉であること、ろう者独自の文化を市民に広く伝え、ろうの子どもたち、また若いろう者、家族等に幅広く夢を与えていくことをコンセプトに製作した。脚本・監督は「ゆずり葉」に続き早瀬憲太郎。これまでの経験を活かし、きこえる俳優・スタッフと見事に連携し、新たなエンターテインメントを創りあげた。主人公の瑞月役を、NHK「中学生日記」に出演した藤田菜々子(ろう者)が熱演。彼女を見守る家族に高島良宏、鈴まみのろう俳優。村で瑞月を迎えるのは、島かおり、丘みつ子、佐藤雄次郎など素晴らしい俳優陣。盲ろう者やほかの障害のある人たちも出演する映画「咲む」は、観る人すべての人を笑顔にする。



藤田 菜々子 島 かおり 赤塚 真人 宮下 順子 田中 康寛 高島 良宏 鈴 まみ 山中 蓮媛 伊是名 夏子 佐藤 雄次郎 丘 みつ子  
 脚本・翻訳・監督：早瀬憲太郎 製作総指揮：石野富志三郎 プロデューサー：久松三二 新井英夫 音楽：小林洋平 撮影：猪本雅三(J.S.C) 照明：奥村誠 録音：郡弘道 美術：津留啓亮  
 装飾：平川泰光 編集：山崎祥 スクリプター：吉田久美子 ラインプロデューサー：武田千明 制作担当：富田政男 衣装：宮本まき江 ヘアメイク：オオタカエミコ  
 制作プロダクション：株式会社ターゲット アドバイザー：山本おさむ 中橋真紀人 手話言語監修：高野隆 木村晴美 【2020年/115分/日本語字幕/音声ガイド(UDcast対応)】